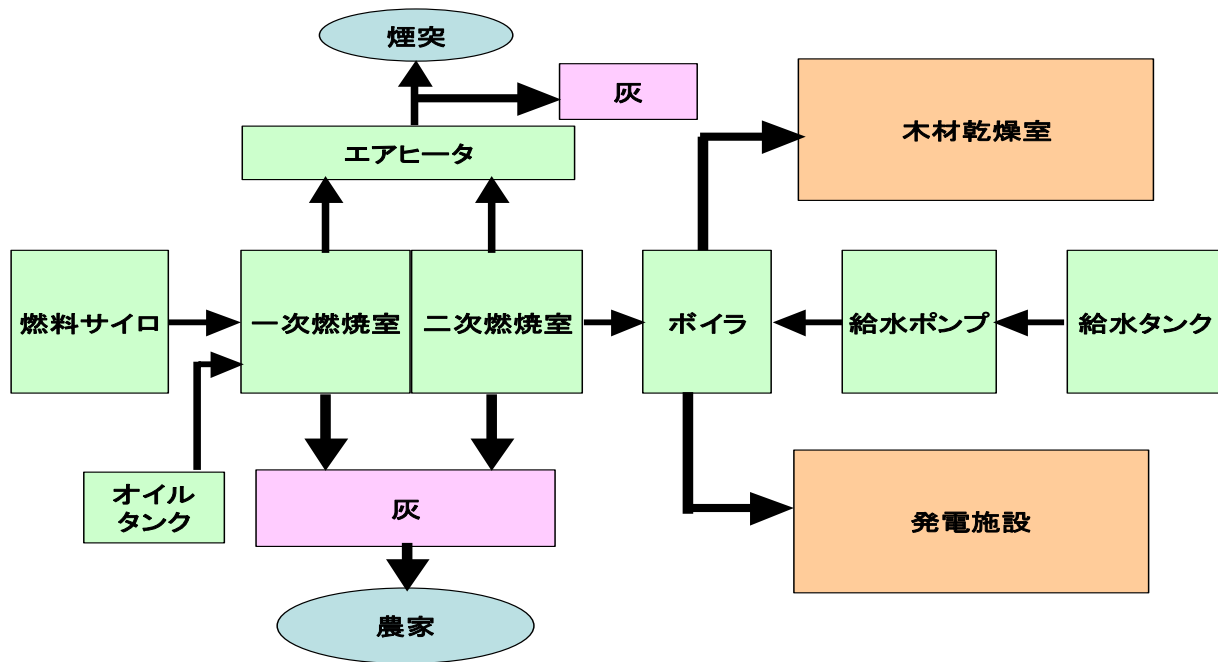


所在	宮崎県都城市丸谷町4708-1	事業主体	都城地区プレカット事業協同組合
問い合わせ先	TEL:0986-36-0755 FAX:0986-36-0757	見学	可(事前申込み)
施設名	木質バイオマス発電施設 木質資源利用ボイラー施設	運転開始年	2004年
出資比率	国50%、県4.5% 自社45.5%	原料	木質(木屑・製材残材)
利用法	発電(所内利用) 発生熱(所内利用)	原料調達費	有償

システムフロー
(フロー図)



システムフロー
(施設全景)



施設仕様	木質資源利用ボイラー施設: 5tボイラー、蒸気5t/h、焼却温度800度 木質バイオマス発電施設: 電力発生70~80kW/1時間
運転状況	木質チップ処理量9,900t、実績稼働日数330日、 発電(70~80kW/h)には最低3~5t/hの蒸気出力が必要だが、原料のチップが不安定 である為、安定した発電は難しい状況である
コスト (イニシャルコスト)	施設建設費: 181,860千円 財源: 国庫補助金86,600千円(50%)、県補助金7,668千円(4.5%) 政策投資銀行から借入れ85,000千円、自己資金2,592千円
コスト (ランニングコスト)	人件費20%、燃料費40%、修繕費3%、軟水生成7%、減価償却その他30%
事業開始の背景	地球温暖化対策、環境対策、木質バイオマスの利活用
効果	重油1,815,000ℓ、年間9,900万円(60円/ℓ)の削減
施設運営上の課題	原料調達システムの改善